
「す・き」第一話

篠崎優砂

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

「す・き」第一話

【Zコード】

Z2743F

【作者名】

篠崎優砂

【あらすじ】

優砂と卓也の出会いのシーンです！ちょっとじれったい…。

やつと会ったね

「Yūusa」

あたしだってこんなに傷つきたくない。

「塾、変えたつてお前馬鹿なんだから。」

「うざいんだよ、お前。」

またあたしはほおを膨らませる。

無駄に足音を響かせて、あたしは真っ白い廊下ビルの前に立った。
そして…教室の場所を確認する。

「…」

「…かな？」

あたしは教室のドアノブに手をかけた

「Takuya」

おやおやおや教室をのぞく、一つの大きな目と焦点が合つた。

…見慣れない顔。

誰…だろ？

僕は何にも気づいてないフリをして目をそらした。

しかし、ほんの数秒後、またその子は僕の視界に入った。
僕の一つ前の席に、ゆっくりと、ヒラヒラとしたスカートを揺らしながらそのまま座った。

この子は…いじめとか経験したことないんだろうな。
のほほんとした雰囲気に思わずため息が出る。
僕は顔を伏せた。

「Yūusa」

あたしは教室のドアをゆっくりと開けた。

もしかしてかつこいい人とかいないかな?とか期待する余裕は少ししかなかつた。

その前にいじめられないかな?…?ていう不安のほうがついた。学校でも、前の塾でもいじめられてきたあたし。

今回は…今回だけはいじめられたくないよ!

…そんな不安は三秒後消えた。

真面目そうな人しかいなかつた。

いじめなんて…する暇なさそうな人ばっかり!

少しづつほおが緩んでいく。

教室を影から見ると、そのうちの一人…もっとも真面目そうな男子と目があつた。

ぴき…っと体が固まつていく。

すると、その男子は「お前になんか興味ない。」といつ風に、あたしから目をそらす。

「ホウツ…。」

よかつた。いじめられる要素、〇・一%もないじゃん。

あたしは鼻歌交じりで、ふんわりと自分の席に座つた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2743f/>

「す・き」第一話

2010年10月11日19時14分発行